

## 会報

### 平成10年度第4回日本公衆衛生学会理事会議事録

- I 日時 平成11年1月29日(金)13:30~16:00  
 II 場所 日本公衆衛生協会3階会議室  
 III 出席者 小澤秀樹学会長, 重松峻夫理事長  
 岩田弘敏, 小倉敬一, 金子克子,  
 北川定謙, 近藤健文, 嶋本 喬,  
 伊達ちぐさ, 竹本泰一郎,  
 多田羅浩三, 野崎貞彦, 能勢隆之,  
 古市圭治, 松田 朗, 三浦宜彦,  
 蓑輪眞澄, 宮武光吉の各理事,  
 平山朝子監事

委任状提出者 吉川 暉, 安倍一郎, 秋吉豊利  
 の副会長  
 岩尾總一郎, 尾寄新平,  
 高杉 豊, 角田文男,  
 柳川 洋, 吉田哲彦の各理事  
 高石昌弘監事

オブザーバー 鈴木庄亮次期学会長

出席者18人, 委任状提出者9人, 現在理事数27人  
 学会規定第13条1項による定数に達したので,  
 重松理事長が議長となり開会を宣した。議事に先  
 立ち重松理事長から挨拶があった。

#### 議事録署名人の選出

議事録署名人に三浦宜彦, 野崎貞彦両理事が指  
 名された。

#### 議 事

##### 第1号議案 第57回(平成10年度)日本公衆衛生学会総会について

岩田前学会長から資料に基づき第57回日本公  
 衆衛生学会総会について次のような説明があっ  
 た。

総会参加者は4,125人であった。参加者から  
 とったアンケートによると, 抄録がB5版半頁  
 になったことについての感想は, 良かったが  
 51%, どちらともいえない38%, 良くない  
 7%, 無回答4%であり, また, 発表が示説中  
 心になったことについての感想は, 良かった  
 32%, どちらともいえない52%, 良くない  
 11%, 無回答5%であった。

現在, 記録集を作成中であり, 決算について

は2月上旬開催の実行委員会に諮った後, 正式  
 に報告することとなるので, 決算報告の会誌へ  
 の掲載については, 重松理事長, 岩田前学会長  
 が確認のうえ掲載することとした。

以上により, 本議案は了承された。

##### 第2号議案 第58回(平成11年度)日本公衆衛生学会総会について

小澤学会長から第58回日本公衆衛生学会総会  
 について, 写真等の資料により詳細な説明があ  
 った。

口演と示説の割合をどのようにするか, 口演  
 の場合はスライド等を使用するのか, また, 分  
 科会と同時進行のシンポジウム, 教育講演等  
 に係る時間の配分については, 57回のアンケート  
 結果等も踏まえて引き続き検討することとし  
 た。

以上により, 本議案は了承された。

##### 第3号議案 第59回(平成12年度)日本公衆衛生学会総会について

鈴木次期学会長から資料に基づき, 第59回日  
 本公衆衛生学会総会について, 第1回の準備会  
 を平成11年1月27日に開催し, 総会開催に関す  
 る基本方針, 第59回日本公衆衛生学会総会規定  
 が決定され, 実行委員会及び事業部会, 学術部  
 会がそれぞれ設置された旨説明があった。開催  
 月日は平成12年10月18日から20日の予定であ  
 る。

以上により, 本議案は了承された。

##### 第4号議案 奨励賞について

野崎庶務担当理事から資料に基づき, 平成11  
 年度の奨励賞について説明があった。

会告は会誌46巻2号に掲載する。選考委員  
 は, 案として例年の委員構成に基づき, 委員長  
 は学会長, 委員は次期学会長, 厚生省保健医療  
 局地域保健・健康増進栄養課長, 学術担当理  
 事, 全国保健所長会長, 庶務担当理事により構  
 成したい旨提案があり, 原案どおり了承され  
 た。

岐阜の総会での奨励賞受賞者講演は盛況であ  
 り, 最近奨励賞に対する関心が高くなっている。  
 選考する上でも応募者が多い方が望ましい  
 ので, 医歯系以外の職種にも浸透するよう, 理  
 事の周辺の各職種の方々も候補者として応募  
 するよう, 周知方の依頼があった。

## 第5号議案 その法

重松理事長から第60回日本公衆衛生学会総会の開催地及び学会長の候補者について諮られた。第60回として特に記念の事業を行うのであれば、人の集まりやすい大都市の方が良いという意見があり、この件については、引き続き検討することとした。

## 報告事項

### 1. 委員会報告

#### 1) 編集委員会

嶋本編集担当理事から日本公衆衛生雑誌の英文表記について、ISSNではNihon Koshu Eisei Zasshiと登録されており、Index MedicusではJapanese Journal of Public Health see Nippon Koshu Eisei Zasshiになっている。NihonかNipponに統一した方が宜しいのではという意見があり、ISSNに変更可能かどうか確かめたところ、雑誌名の変更はかなり困難であるが、Nihon Koshu Eisei Zasshi see Nippon Koshu Eisei Zasshiと表示することは可能である。委員会において外国の人々が検索することも考慮して変更してはどうかという意見が委員会において出ているので、その手続きを取りたい。また、資料や公衆衛生活動報告で英文抄録がない場合、共著者の日本語読みがわからないことがあるので、著者名にカタカナのふりがなを付すこととした旨報告があった。

#### 2) 保健医療福祉委員会

多田羅委員長から保健医療福祉委員会のまとめについて、次のとおり説明があった。

委員の意見を取り入れて作成したまとめであるが、これについて意見を頂きたい。もう一度委員会を開催し、最終的にまとめるつもりである。

近藤理事より来年度からの委員会について

①とりあえず準備会を開き、まず方向づけをどうするかを検討する。委員としては、能力、松田、伊達、岩尾、小倉の各理事に、顧問としては、多田羅、古市の各理事にお願いしたい。

② 保健医療福祉委員会で将来の検討課題とされた諸問題の中から、地域保健専門技術職のあり方と養成を中心に討議していくことを考えているが、評議員、その他会員からも委

員を選び、委員会を構成することとしたい。旨報告があった。

#### 3) 感染症対策委員会

角田委員長欠席のため、蓑輪理事から昨年12月8日に開催の第5回感染症対策委員会について次のような説明があった。

感染症予防法については、法規の内容を時間をかけて討議した。特に、予防接種問題、感染症予防の基本指針については、厚生省の要請を受けて、公衆衛生審議会伝染病予防部会のヒアリングに出席し学会としての意見を述べた。また、感染症に関する情報の収集および公表については、委員会としての意見をまとめ、公衆衛生審議会伝染病予防部会に対して「新しいサーベイランスシステムへの提言」として提示した。

感染症予防法の条文には、衛研、保健所に疫学専門家を配置することについて、具体的には表現されていないので、地方公共団体等にアピールするためにも、疫学教育のカリキュラム、特に感染症を中心にケースごとのモデルを組み、研修（学会単独というよりも、公衆衛生院、感染症研究所、都道府県等と連携し）を行い、人材を養成する必要があるとの意見が多く出された。

保健所における新対応、衛研における新対応、感染症の研修プログラム、予防接種等については、これらを冊子にまとめ、研修会等で使用できるようにしてはどうかとの提案があった。

次回委員会は4月6日に開催し、委員会のまとめをA4の用紙2~3枚に作成し、機関誌に掲載したい。また、5年後の見直しの時に学会としての意見を提言すべく委員会活動を続けるべきであるとの意見があった。

### 2. 選挙管理委員会報告

小澤選挙管理委員長から第10回役員選挙について次のとおり説明があった。

昨年の12月4日に第1回選挙管理委員会を開催し、委員長の選出、日程の確認、登録票と雑誌掲載の案文について検討した。

委員長には学会長が選出された。今回は雑誌送付宛名用紙に赤字で選挙登録が開始されたことを記載し、選挙のお知らせもピンク色の紙を

使用し、会員の注意を引くように工夫した。

### 3. その他

#### 1) 後援名義使用の依頼について

野崎理事から以下の後援名義使用の依頼があり、承諾した旨報告があった。

- (1)第9回ヒ素シンポジウムの協賛依頼
- (2)内分泌攪乱物質(環境ホルモン)国際シンポジウム東京講演会の協賛依頼
- (3)第6回アジア学術会議—科学者フォーラム—の後援依頼

#### 2) その他

- (1) 重松理事長から、先に本学会から推薦した倉恒匡徳氏が中富健康科学振興財団平成10年度の振興賞に顕彰されることに決定したと同財団より通知があった旨、報告があった。
- (2) 近藤理事から次のような報告があった。
  - ・2月3日開催の第4回日本医学教育学会教育委員会協議会に出席する予定である。

- ・第18期の日本学術会議への団体登録に関する説明会があり、事務局が出席する。これから来年の7月までかけて会員の選出をする予定である。

- (3) 竹本理事から名誉会員の佐分利輝彦先生は平成10年12月9日に、山形操六先生は平成11年1月1日にご逝去された旨報告があった。
- (4) 公衆衛生の教育システム、生涯教育にからみ、School of Public Healthについて活発な討議がなされた。

次回理事会は4月23日(金)13時30分より日本公衆衛生協会会議室で行うことが決定された。

以上で議事を終了し、重松理事長が閉会を宣した。

シリーズ  
[トレーニングの科学]4

## 加齢とトレーニング

トレーニング科学研究会編 A5判 216頁 本体4200円 ㊦310  
高齢者のスポーツ参加の関心の高まりを踏まえ、加齢に伴う身体機能の変化とそのメカニズム、高齢者のトレーニング処方、中高年齢者の体力テスト、加齢とスポーツ障害などについて、指導者、学生のためにわかりやすく解説

現代の体育・  
スポーツ科学

## スポーツと寿命

大澤清二著 A5判 240頁 本体4200円 ㊦340  
〔内容〕寿命と運動/体力と寿命/体格と寿命/ライフスタイルと寿命/スポーツ習慣と寿命/日本人スポーツマンの寿命/スポーツ種目と寿命/スポーツマンの死因/スポーツによる障害と事故死の確率/女性とスポーツ/他

現代の体育・  
スポーツ科学

## 女性とスポーツ

一動くからだの科学—  
加賀谷淳子編 A5判 240頁 本体4500円 ㊦340  
〔内容〕遺伝子からみた性差/体格と身体組成/女性の筋・神経系・呼吸・循環系・内分泌系の特性と運動/代謝特性と減量/運動と骨/妊娠出産とスポーツ/男性と女性の動きの相違/競技記録/女性の運動と身体に関する資料集

現代の体育・  
スポーツ科学

## フィットネススポーツの科学

芝山秀太郎・江橋 博編 A5判 192頁 本体3300円 ㊦310  
健康づくりに役立つフィットネススポーツを実際的に解説。〔内容〕健康づくりとフィットネススポーツ/運動処方とフィットネス/長期間のフィットネスとその効果/ウエイトコントロール/フィットネススポーツ処方の実際他

スポーツ医学 —基礎と臨床—

日本体力医学会学術委員会監修 B5判 416頁 本体12000円 ㊦450  
日本体力医学会学術委員会の編集による「スポーツ医学の基礎」を全面改訂。実践に役立つよう各種疾病と運動許可条件・運動処方の内容を充実。〔内容〕基礎編/疾病と運動編/スポーツ外傷・障害編/体力の測定と評価の実際

現代の体育・  
スポーツ科学

## スポーツ医学 I

一病氣と運動—  
池上晴夫著 A5判 352頁 本体5500円 ㊦380  
〔内容〕肥満と運動/糖尿病と運動/高脂血症と運動/動脈硬化と運動/虚血性心疾患と運動/高血圧と運動/骨粗鬆症と運動/喘息と運動/運動性貧血/癌と運動/スポーツ心臓/運動と突然死/運動の功罪/運動処方/安全対策他

現代の体育・  
スポーツ科学

## 身体機能の調節性

一運動に対する応答を中心に—  
池上晴夫編 A5判 288頁 本体4800円 ㊦340  
運動を切口にして生理機能の調節性を解説。〔内容〕エネルギーの需要と供給/呼吸系の応答/循環系の応答/重力と運動/高地と運動/運動と骨格筋/運動と発汗調節/運動と体液の調節/四肢の運動調節/姿勢/内分泌系/他

ランニングと脳 —走る大脳生理学者—

久保田競著 B6判 168頁 本体2800円 ㊦310  
ランニングが肉體だけでなく神経系によい影響を与える楽しいものであることを著者の体験を通して語る。〔内容〕顔/ランニングと心臓血管系/やせる/筋運動の種類とフィジカルフィットネス/渇き/陶酔状態/性格/弊害/他

**朝倉書店**

〒162-8707 東京都新宿区新小川町6-29

電話 営業部 (03) 3260-7631 FAX (03) 3260-0180

http://www.asakura.co.jp

\*ホームページで「書籍注文」ができます

\*本体価格は消費税別です。